



2019年度 仙北市立白岩小学校 学校報

家庭や地域の方々と共に「ありがとう」「いいね」を伝え合える学び場を66人の子どもたちに

三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.3 —

平成31年4月15日発行

今年度、学校の「いいね」はわたしたちが作ります！

第1回の委員会を行いました



4月10日(水)、今年度最初の児童会の各委員会の話し合いが行われました。今年度の委員会は、運営、放送、保健、図書の一つです(児童数の減少により、昨年度まであったボランティア委員会をなくし、その活動は、運営委員会で引き継ぐことになりました)。

話し合いでは、委員長などの役員や今年度の主な活動などを決めました。子どもたち自身の手でより楽しく、より安全に学校生活が送れるようにするのが委員会活動です。今年度、各委員会の活動でどんな「いいね」が増えるのか楽しみです。

運営委員会



K 委員長の決意！

全校のみんなの優しい気持ちが大きくなるように、募金や施設訪問などボランティア活動もがんばり、白岩小の「いいね」を増やします。

放送委員会



K 委員長の決意！

昼の放送でオリジナルのクイズをやります。また、賞状をもらった人へのインタビューを放送するなど、みんなの「いいね」を全校に伝えます。

保健委員会



F 委員長の決意！

ポスターなどで呼びかけて、今年度も健康に気をつけて休みが少ないという白岩小の「いいね」が続くようがんばります。

図書委員会



K 委員長の決意！

読み聞かせの活動を充実させて本の「いいね」を全校のみなさんに伝え、本の貸し出し数が昨年度より多くなるようがんばります。

4月18日（木）に、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が、次の目的、内容で行われます。

○調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じ、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(文部科学省「平成31年度全国学力・学習状況調査」リーフレットより)

○調査の内容

- ・教科に関する調査（国語、算数）
※昨年度は、『主として「知識」に関する問題(A)』（各20分）、『主として「活用」に関する問題(B)』（各40分）が行われましたが、今年度は、AとBが一つとなった問題を各45分で行います。
- ・生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
※学習意欲や読書時間、勉強時間など生活の様々な面に関する質問があります。

「調査の目的」にもあるとおり、結果よりも、結果を踏まえてこれから先生たちと一緒に何を頑張っていけばよいかをみつけるために行うものです（「テスト」ではなく「調査」です）。

調査を受ける人が今ある力を全部出さないと、これから頑張っていくことがきちんとみつかりません。問題文が長かったり、いくつかの資料を使ったりする問題もありますが、6年生のみなさんには、「難しい」と思ってすぐにあきらめず、「粘り強く」自分の力を全部出して欲しいと思います。「粘り強く」できたからどうかを判断する基準の一つは、空欄があるかないかです。文章で答える問題もありますが、空欄を作らないことを目標の一つとして取り組んで欲しいと思います。



学校でつけた子どもたちの「いいね」③

お兄さん、お姉さんが見守りながら…



先週、新入学期の全国交通安全運動で先生方も順番に、学校前の十字路と木元商店前の丁字路に立って街頭指導を行いました。

あいさつは昨年に引き続きしっかりできていました。加えて、今年の「いいね」は、歩き方！昨年度は、歩くのが速い上級生と、下級生が離れてしまう場面もみられましたが、今年度はどの班も、列の前と後ろに上級生のお兄さん、お姉さんがついて、離れることなく一列で登校できていました。

12日（金）には、今年度最初の地域子ども会が行われ、登校の仕方について改めて確認したようです。これからも、地域みなさんに元気を与える「あいさつ」と、王様、女王様のような堂々とゆったりとした安全な歩き方を大切にして登校してくださいね。

地域子ども会について

学校で「地域子ども会」を行うにあたり、昨年度まで堂野口地域は、中村地域と一緒に行っていましたが、地域別の子ども数の変化に伴い、今年度から釣田地域と一緒にすることとしました。

よって、今年度の地域子ども会は「中村（16名）」「釣田・堂野口（10名）」「白岩（15名）」「上・下中川原（11名）」「後村・浜・下夕町（14名）」の五区分で行っていきます。